

道の駅「たからだの里さいた」と香川大学（「地域インターンシップ」全学共通科目）の学生が連携して、道の駅を拠点とした地域物産品の販売促進の企画提案を行います。

①道の駅の課題の把握

- ・道の駅担当者からの提供課題＝「若い人が少ない」
- ・学生がみた販売促進の課題＝「POPの改良」

反映

②商品販売促進の企画・提案

- ・POP作成に関する問題
（季節ごとのPOP差し替え、新商品への対応などで煩雑）
- ⇒Facebookでの情報発信
（カフェメニューの紹介、季節の野菜の紹介）

反映

発展

③生産者と地域住民の交流の企画・提案

- ・地域野菜を使った料理イベント

【道の駅の問題点の探求】

物産館・温泉・宿泊施設など施設が充実し、一見困ったように見えない道の駅の問題を明らかにし、働いている方から現状を聞き取り、今回の取り組みに反映します。



【香川大学による地域インターンシップの目的】

香川大学では、低年次で地域に出向き、地域づくりの現場・しごとを理解し、地域課題解決への参画を通じて、①社会貢献、②課題探求・解決力の修得、③能動的学修を目指している。

インターンシップ報告会



【道の駅「たからだの里さいた」について】

道の駅「たからだの里さいた」は、新鮮な野菜と果物が毎日出荷される産直市を開催。温泉・宿泊施設も備え、四国霊場のお遍路が立ち寄る場所となっている。

地域特産の新鮮な野菜



香川大学(所在地:香川県高松市)は、6学部、8研究科を擁した総合大学として、個性と競争力を高めるために「地域に根差した学生中心の大学」をめざしています。また、地域貢献では、文部科学省の大学改革推進事業のひとつ、「地(知)の拠点整備事業(COC事業)」において、平成25年度に採択され、全学的に県内自治体が連携し、離島振興や街の活性化、定住促進対策などの地域活性化に取り組んでいます。「地域インターンシップ」もCOC事業において新設された科目です。

平成27年度 取組み内容①：商品販売促進の企画・提案

取組み前の調査

●道の駅たからだの里さいたの「特産品」や「観光資源」「課題」を担当の方から学び、取り組むべきテーマを検討



●現状のPOPからFacebookの活用を提案

現状のPOPの課題

- ・もっと見やすくしたい
- ・もっと統一感を持たせたい

POP作成

- ・商品の入れ替わり
- ・直接集客に結び付かない

困難

Facebookでの情報発信

- ・おすすめの商品・食べ物・施設紹介
- ・イベントの告知
- ・生産者さんへインタビューし、野菜のおいしさ紹介

学生が「たからだの里さいた」のfacebookを開設し、道の駅の情報発信に取り組みました。



たからだの里さいた
の投稿

2015年9月24日

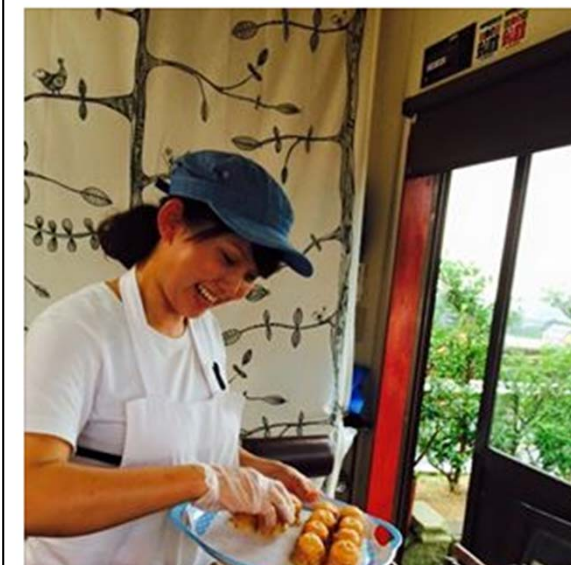
親芋と小芋の2種類あるセレベス里芋。
冷凍しても美味しく食べられます ✨



たからだの里さいた
の投稿

働いている
人の紹介も
しています

森のくまさんの方♪
午前中に行ったら会えます ✨
お客さんとお話できることが楽しいそうです！



●Facebookは100いいねを超え、店舗の話によると、Facebookを見てきてくれた人がいたということで、少しずつ広まっている。

平成27年度 取組み内容②：生産者と地域住民の交流の企画・提案

取組み前の調査

- 共奏キッチン実施に関する打合せの様子



- みんなで行う料理イベントの提案に至るまで

SNSを活用した課題と対応方針

- ・SNSやインターネットに対する生産者の方の不信感
- ・野菜を使ったレシピを発信したい
- ・生産者との距離を縮めたい

みんなで行う料理イベントの提案

- ・伝承館の有効活用
- ・地域の人同士の交流

共奏キッチンの実施

- ・地域で採れた野菜を中心に、買い物して、みんなで料理し、食べるイベント

野菜を作っている生産者の方を身近に感じ、地域の人同士の交流が深められる他、財田の野菜を使った料理方法を学べるなど料理を通していろいろの効果を得ることができました。

- 共奏キッチンの実施状況



農家さんの野菜



完成！

